



2026年12月期第2四半期 決算説明会

2026年8月6日
リョービ株式会社

© Ryobi Limited. All rights reserved



目次

- 1. 2026年12月期 第2四半期決算実績 P. 3**
- 2. 2026年12月期 通期業績予想 P. 10**
- 3. 事業状況・トピックス P. 17**
中期経営計画（2025年-2027年）の進捗状況
- 4. 企業価値向上に向けた取組み状況 P. 26**

1 . 2026年12月期 第2四半期決算実績

実績サマリー

- 原料価格の上昇と円安による在外子会社の売上高の円換算額が増加したことで増収利益は高騰が続く原料価格の売価への転嫁が一定の期間を要するため減益

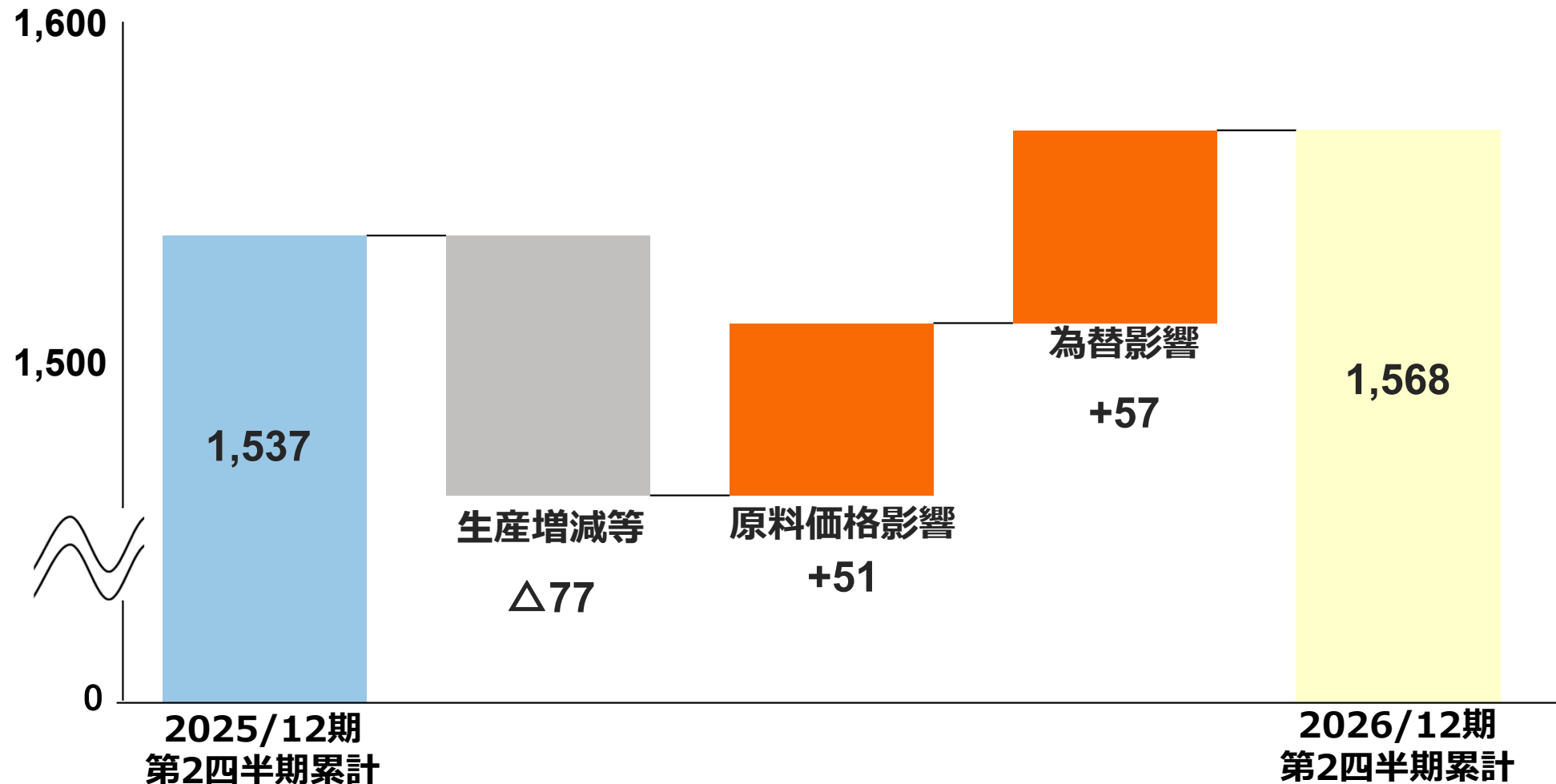
(単位：億円)

	2025/12期 第2四半期累計	2026/12期 第2四半期累計			
	実績	実績	前年同期差 (前年同期比)	業績予想 (2/12)	業績予想差 (業績予想比)
売上高	1,537	1,568	30 (2.0%)	1,530	38 (2.5%)
営業利益	60	45	△15 (△25.4%)	42	3 (6.0%)
経常利益	61	48	△13 (△20.7%)	42	6 (15.1%)
親会社株主に 帰属する 中間純利益	44	40	△4 (△9.6%)	35	5 (14.4%)

売上高増減要因

- ・ ダイカストと印刷機器の生産量が減少
- ・ 一方でダイカストの原料価格の上昇分を売価へ転嫁したことや、為替影響により前年同期比で30億円増収

(単位：億円)

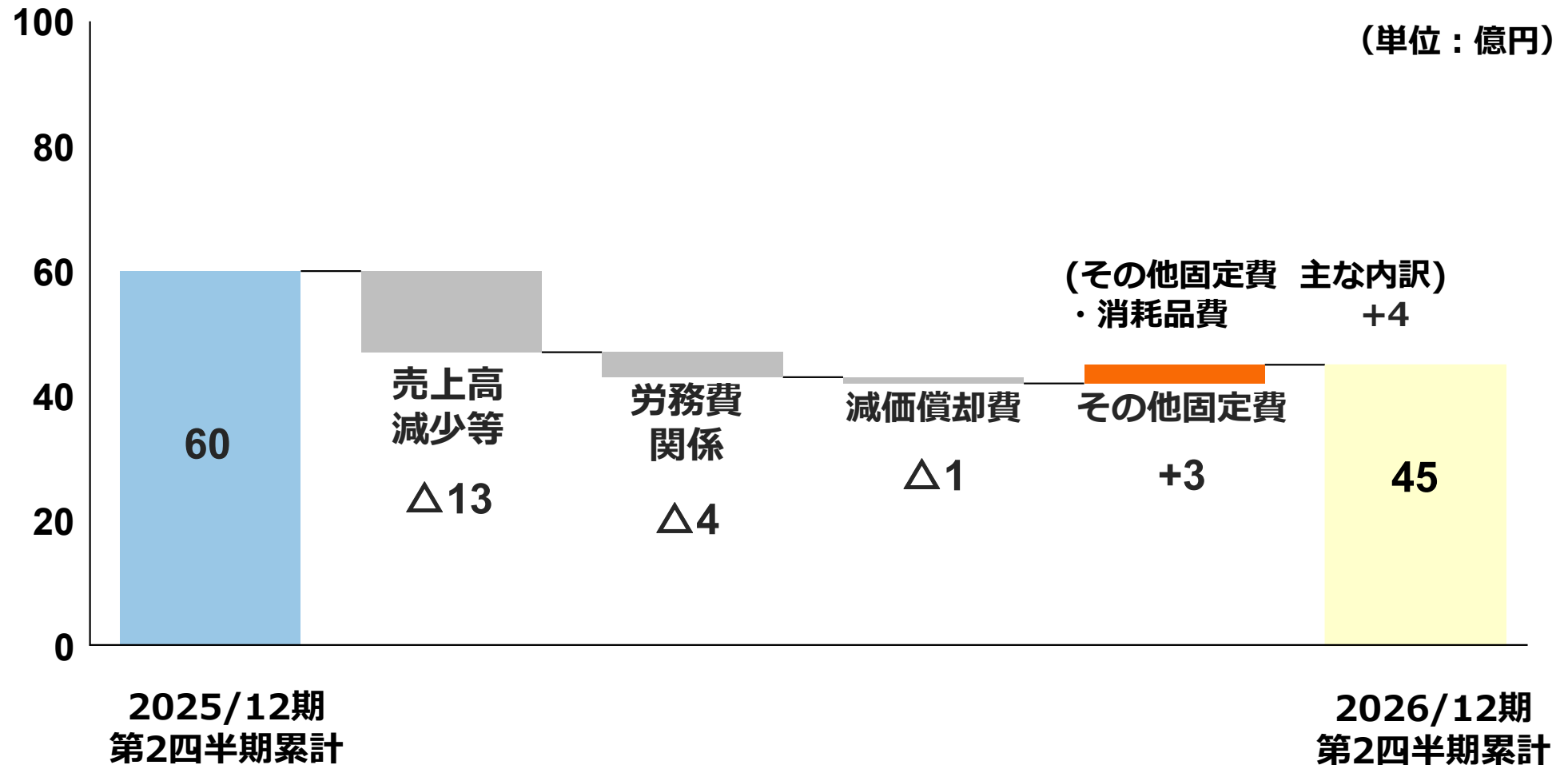


為替レート (期中平均)

	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2025/12期第2四半期	150.09円	192.48円	20.58円	4.43円
2026/12期第2四半期	157.43円	212.14円	22.88円	4.93円

営業利益増減要因

- ダイカストで生産量の若干の減少とアルミ価格上昇分の売価への転嫁に一定の期間を要することから前期比で減益
- 印刷機器で売上高が前期比で大幅に減少したことに伴う利益減



為替レート（期中平均）

	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2025/12期第2四半期	150.09円	192.48円	20.58円	4.43円
2026/12期第2四半期	157.43円	212.14円	22.88円	4.93円

セグメント別実績

1.2026年12月期 第2四半期決算実績

RYOBI

ダイカスト：生産量は若干減少するが、原料価格上昇と円安の影響で増収
価格転嫁まで一定の期間を要するため減益

住建機器：国内外ともに減収、人民元高による中国からの調達コストの上昇により減益

印刷機器：設備投資マインドの低下により国内外ともに減収、減収の影響で減益

(単位：億円)

	2025/12期 第2四半期累計	2026/12期 第2四半期累計			
	実績	実績	前年同期差 (前年同期比)	業績予想 (2/12)	業績予想差 (業績予想比)
売上高	1,537	1,568	30 (2.0%)	1,530	38 (2.5%)
ダイカスト	1,350	1,433	83 (6.2%)	1,360	73 (5.4%)
住建機器	54	51	△3 (△5.5%)	55	△4 (△7.6%)
印刷機器	133	83	△50 (△37.8%)	115	△32 (△28.2%)
営業利益	60	45	△15 (△25.4%)	42	3 (6.0%)
ダイカスト	51	47	△4 (△7.0%)	40	7 (17.5%)
住建機器	0	△2	△2 (-)	0	△2 (-)
印刷機器	9	△0	△10 (-)	2	△2 (-)

貸借対照表

- 総資産は前期比19億円増加 うち為替影響で65億円増加
- 有利子負債は短期借入金増加はあるものの長期借入金の返済により為替影響を除いて61億円減少

(単位：億円)

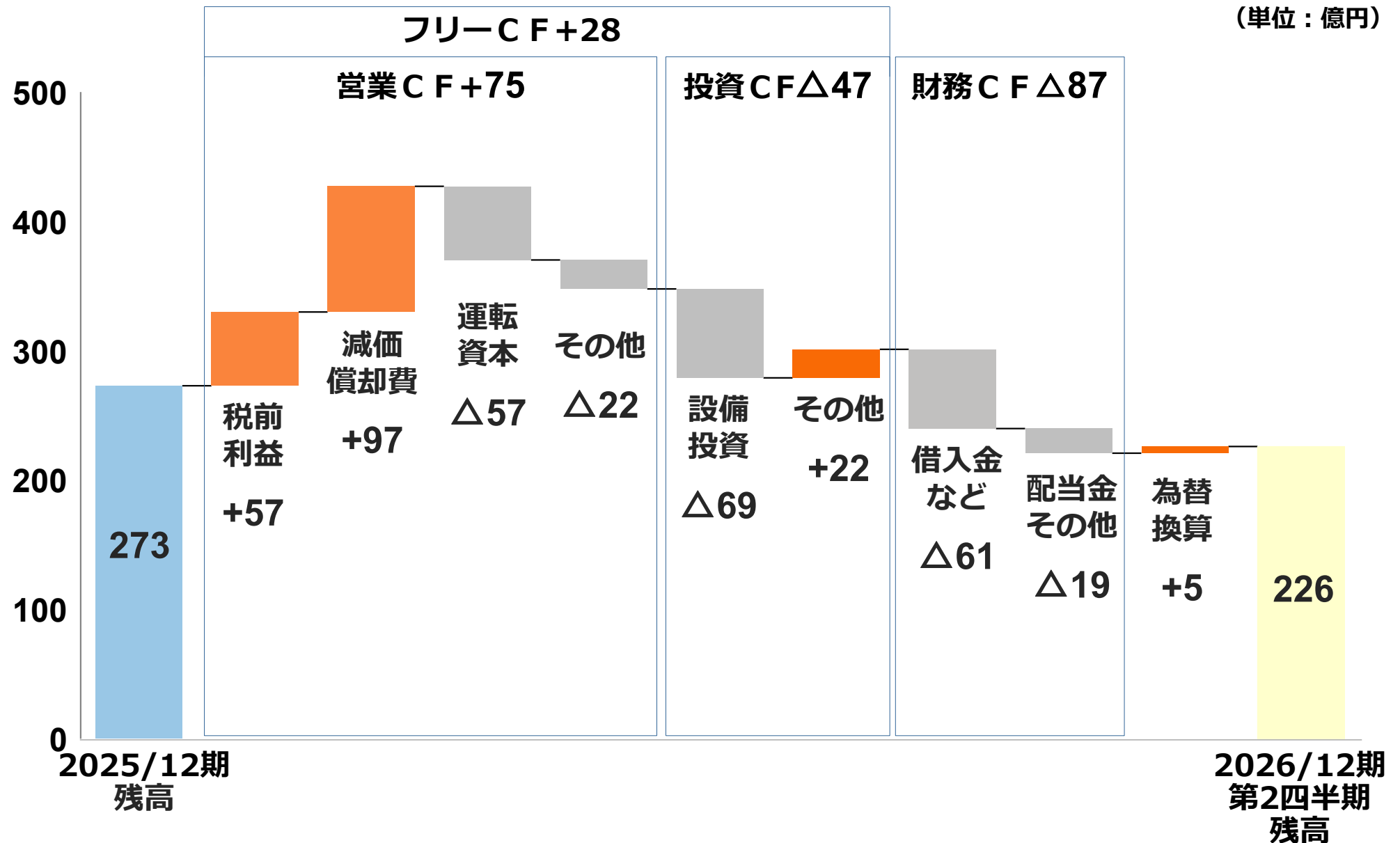
	2025/12期	2026/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響		2025/12期	2026/12期 第2四半期	増減	うち 為替影響
流動資産	1,654	1,682	28	31	流動負債	958	998	40	13
現預金	312	270	△42	4	仕入債務	360	354	△6	5
売上債権	655	663	8	13	短期借入金	381	430	49	6
有価証券	7	7	0	－	その他	218	214	△4	2
棚卸資産	630	695	64	13	固定負債	584	483	△101	1
その他	50	47	△3	1	長期借入金	367	263	△104	0
固定資産	1,783	1,774	△9	33	その他	217	220	3	1
有形固定資産	1,293	1,287	△6	29	株主資本	1,357	1,381	24	0
無形固定資産	27	27	0	1	その他の包括利益 累計額	438	496	58	0
投資その他の資産	463	460	△3	3	非支配株主持分	101	99	△2	－
繰延資産	－	－	－	－	純資産合計	1,896	1,976	80	51
資産合計	3,437	3,456	19	65	負債・純資産合計	3,437	3,456	19	65

為替レート（期末日）

	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2025/12期	156.56円	211.43円	22.36円	4.97円
2026/12期第2四半期	162.39円	215.05円	23.87円	4.88円

キャッシュフロー増減

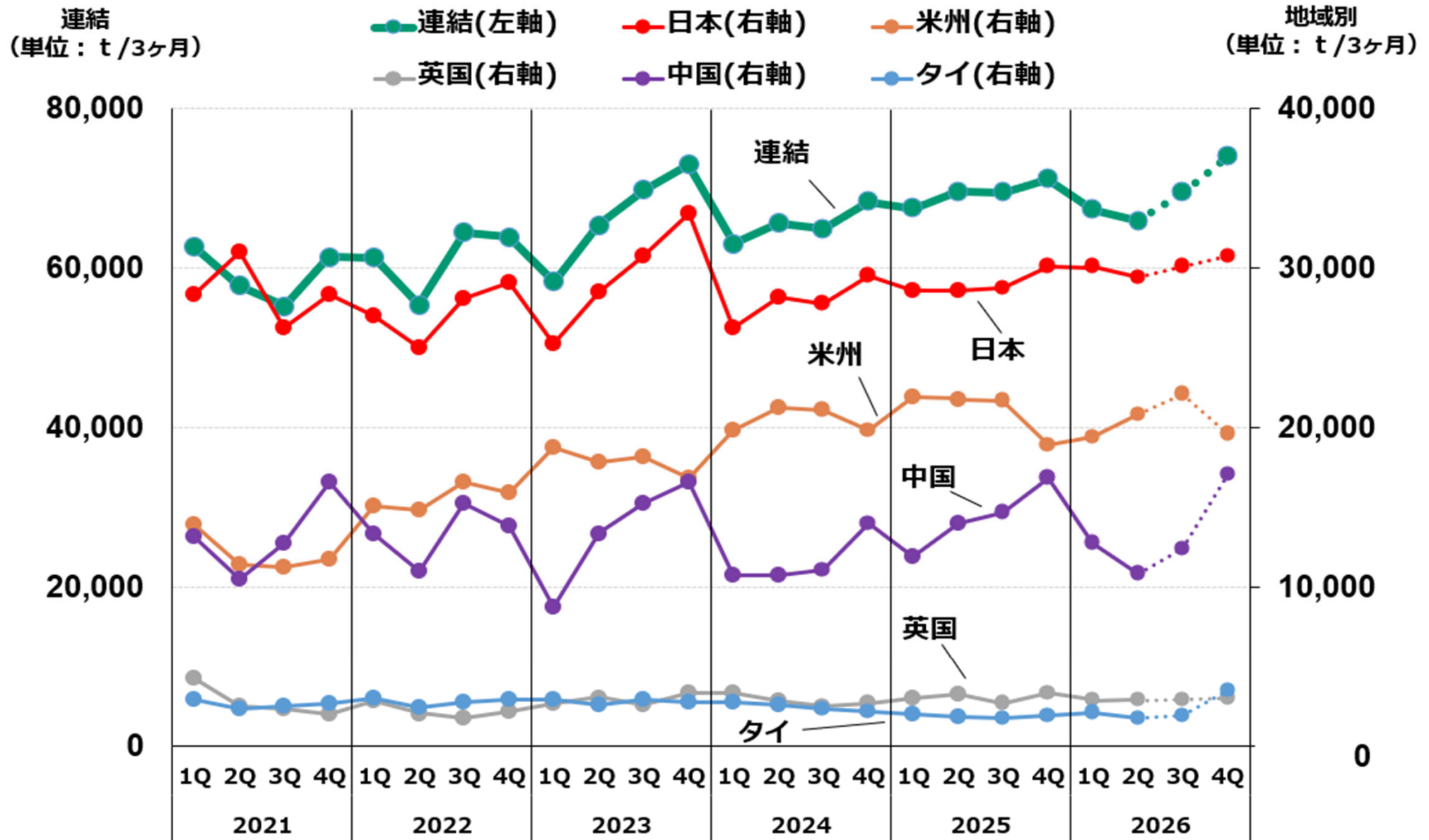
- 営業CFと投資CFを合算したフリーCFは28億円のプラス
- 借入金の返済や配当金の支払いにより、現金及び現金同等物の残高は47億円減少



2. 2026年12月期 通期業績予想

ダイカスト生産重量の推移

- 当初予想を若干下回るが2026年12月期は前年と同程度（年間280千t弱）を見込む



※実線部は実績、破線部は予想を示す

業績予想（2/12から変更あり）

- 新規品の量産に加え、原料価格の上昇と円安による在外子会社の円換算額が増加することで増収
- 経常利益は為替差益、助成金収入等の減少で減益、一方で投資有価証券売却益もあり当期純利益は増益

（単位：億円）

	2025/12期	2026/12期	
	実績	業績予想	前期差 (前期比)
売上高	3,091	3,400	309 (10.0%)
営業利益	127	130	3 (2.6%)
経常利益	146	140	△6 (△4.2%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	112	120	8 (7.3%)

セグメント別業績予想

ダイカスト：新規品の量産に加え、原料価格高騰や為替影響などにより増収増益
(上方修正)

住建機器：国内外とも増収により増益（予想の修正無し）

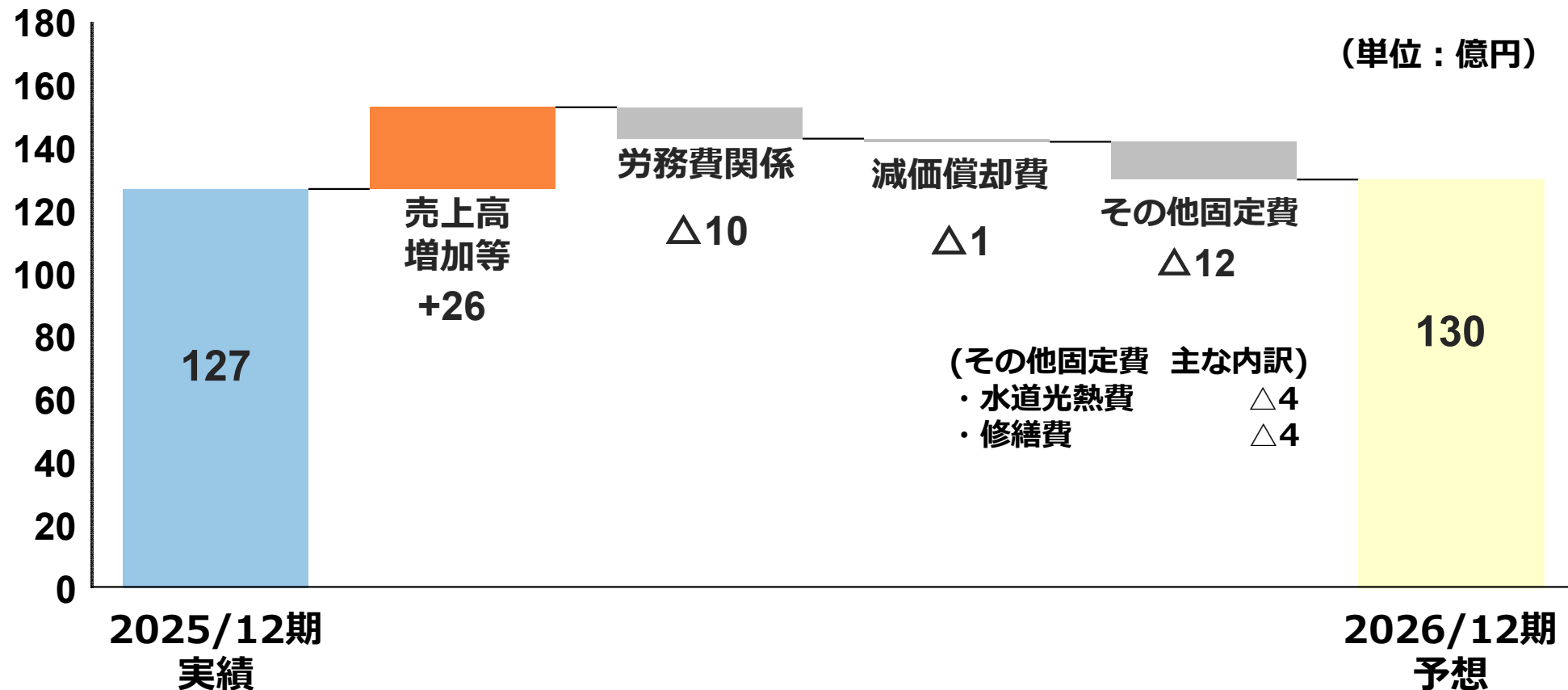
印刷機器：国内外とも減収により減益（予想の修正無し）

(単位：億円)

	2025/12期	2026/12期	
	実績	業績予想	前期差 (前期比)
売上高	3,091	3,400	309 (10.0%)
ダイカスト	2,743	3,070	327 (11.9%)
住建機器	109	115	6 (5.8%)
印刷機器	237	215	△22 (△9.2%)
営業利益	127	130	3 (2.6%)
ダイカスト	113	125	12 (11.0%)
住建機器	1	2	1 (67.2%)
印刷機器	13	3	△10 (△77.3%)

営業利益予想増減要因

- 生産量増加に伴う増収効果や原価低減、生産性の向上に取り組むことで増益
- アルミ価格の売価への転嫁が進む



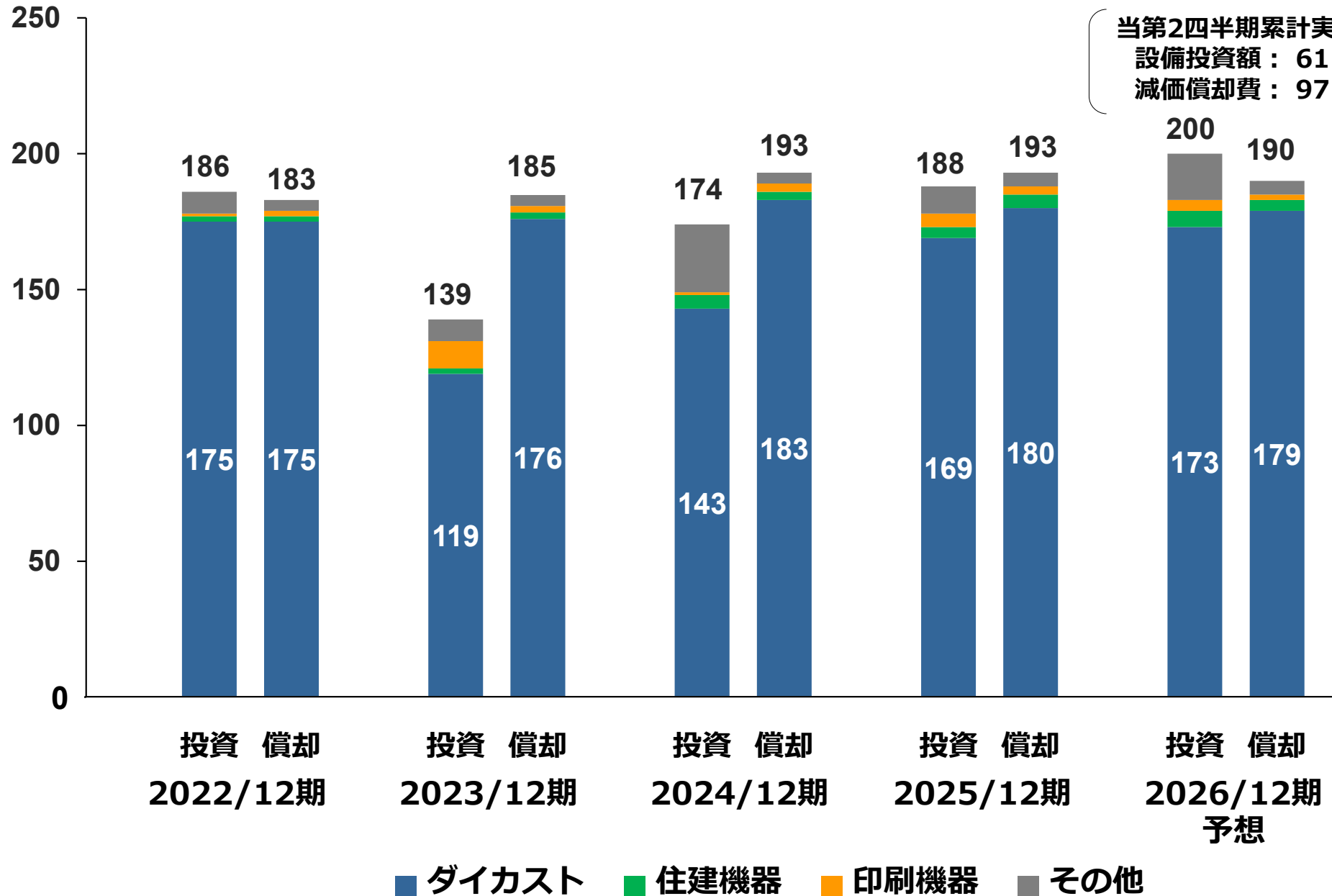
為替レート	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
2025/12期 (期中平均)	150.03円	196.58円	20.80円	4.53円
2026/12期 (予想)	155円	210円	23円	4.7円

為替1%変動 (円高) 時の 年間営業利益への影響額	
米ドル	△50百万円
英ポンド	△10百万円
中国元	△20百万円
タイバーツ	△20百万円

設備投資・減価償却費推移

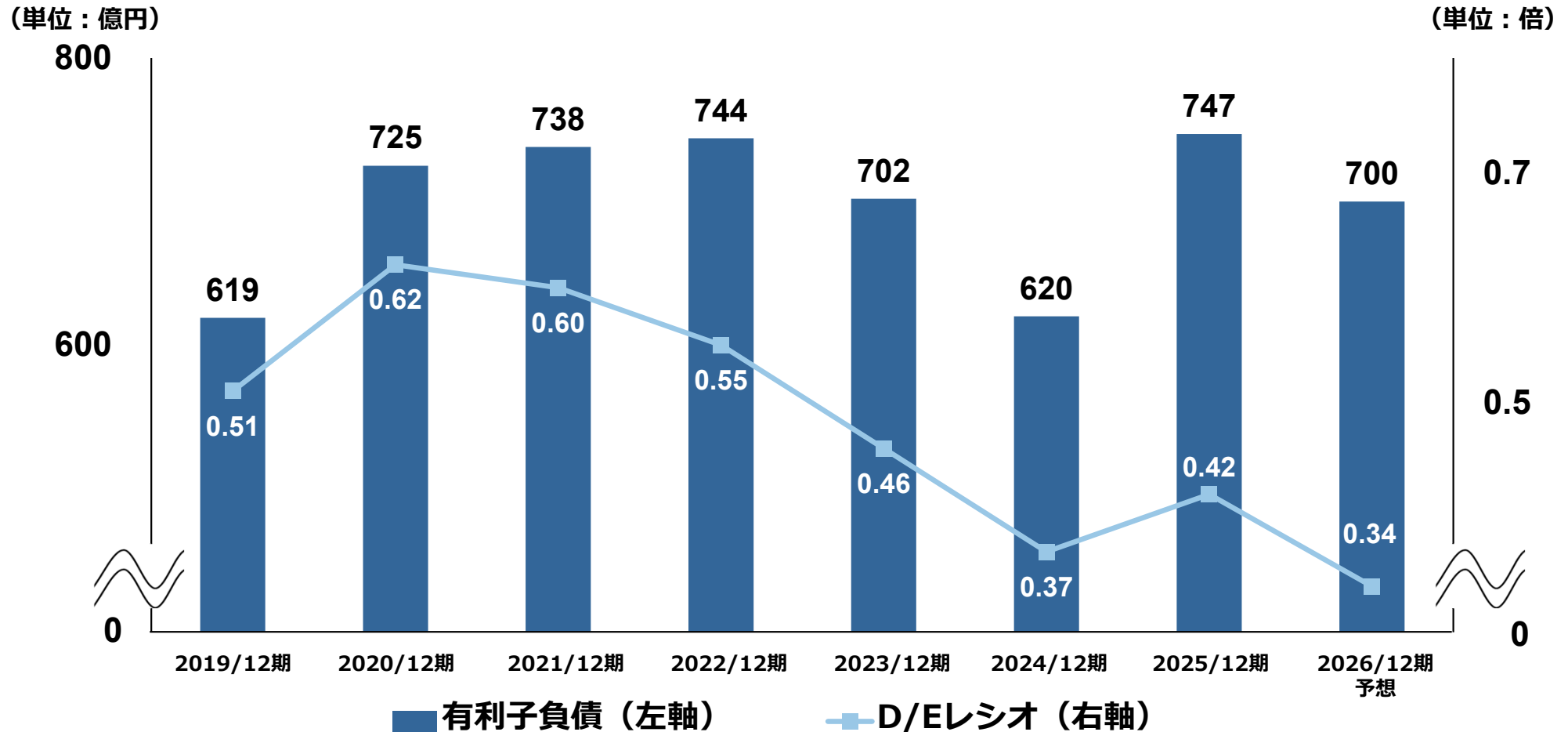
- 2026年12月期 投資200億円、償却費190億円 を予想

(単位：億円)



有利子負債・D/Eレシオ推移

- 2026年12月末の有利子負債残高は700億円を予想
- D/Eレシオは0.5倍以下を維持する見込



	2019/12期	2020/12期	2021/12期	2022/12期	2023/12期	2024/12期	2025/12期	2026/12期 予想
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	23.5%	28.0%	26.4%	24.8%	22.0%	18.6%	21.7%	20.3%

3. 事業状況・トピックス

中期経営計画（2025年-2027年）の進捗状況

中期経営計画（2025年-2027年）の位置づけ



私たちの知恵と行動で未来を拓く
～Challenge 2027～

2035年のありたい姿に向け、
経営基盤強化と事業領域拡大のための
積極的な成長投資を行う時期と位置づけ

バックキャスト

財務目標

売上高 2,933億円
経常利益 116億円
ROE 4.4%

売上高 3,370億円
経常利益 150億円
ROE 7.0%

売上高 4,500億円
経常利益 270億円
ROE 9.0%以上

段階的にROEを引上げ、中長期的に株主資本コストを上回る水準を達成する

基本方針A（事業の面）

市場におけるプレゼンスの向上

- 収益力の向上
- 効率性の向上
- 成長力の強化

基本方針B（組織の面）

安全で働きやすく健康で活力ある 職場づくり

- 労働安全衛生、心とからだの健康推進
- 多様な人材活躍推進
- ICTやAIなどのデジタル技術活用

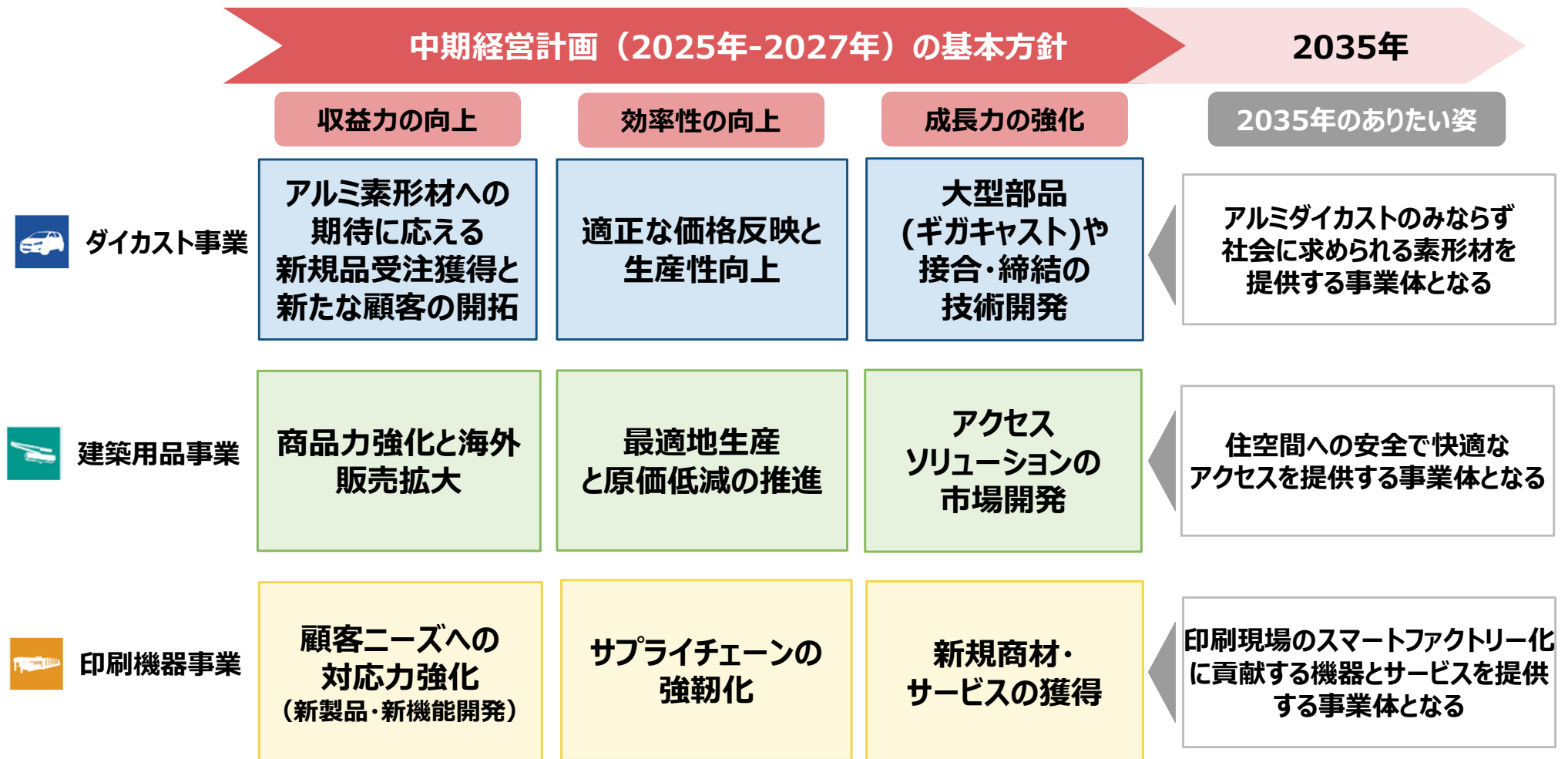
基本方針C（環境・社会の面）

環境・社会課題への対応

- 環境負荷低減活動の推進
- 持続可能なサプライチェーンとの共創
- ガバナンスの強化

中期経営計画（2025年-2027年）：事業別基本方針

各事業において収益力・効率性の向上、成長力の向上を図る



オーガニックな成長力強化だけでなく、
外部アライアンス活用も検討しながらインオーガニックな成長実現を図る

2026年の取組み状況（ダイカスト）

中期経営計画の事業戦略	2026年の取組み
適正な価格反映と生産性向上 ● 価格反映と生産性向上による収益性の改善	✓ 部品規格化等による金型製作リードタイム削減 ✓ 検査工程の省人化推進、欠陥検出能力の向上
新規品受注獲得と新たな顧客の開拓 ● 自動車以外の市場開拓 及び グローバル連携体制の再構築 ● 新規品受注に向けた販売力と技術開発の強化	✓ 非自動車を含めた新規領域（鉄道や船舶、航空・宇宙、建材など）の開拓
技術開発 ● ギガキャストや接合・締結の技術確立	✓ 軽量化・電動化に貢献する技術開発 ✓ 環境負荷を低減する技術の開発

ダイカスト：2026年の重要トピックス

環境負荷を低減する技術の開発

CO₂排出を抑えた熱処理技術の確立



- 工場に熱処理専用炉を設け、バッテリーケースなどの量産に適用
- エネルギー消費の少ない熱処理技術の開発により、従来よりCO₂排出を6割削減

環境負荷低減と
部品に求められる高い信頼性確保の両立を目指す

再生材原料アルミ合金の開発

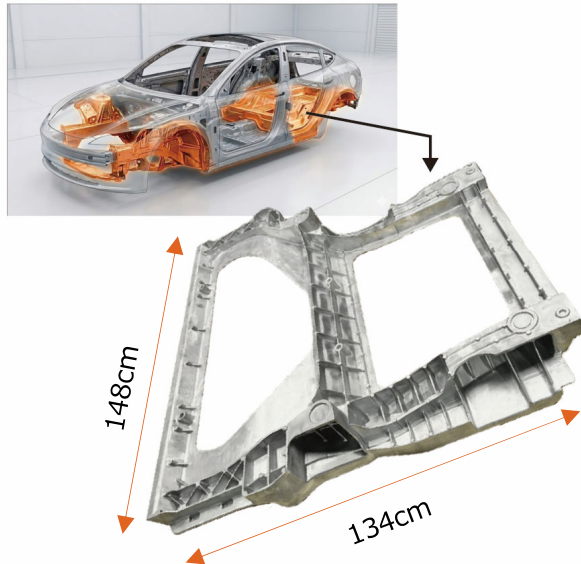


- リサイクルアルミを主原料とした、自動車の重要保安部品に適用可能な二次合金を開発
- 製造時の電力使用量やCO₂排出量を大幅に削減

厳格化する再生材活用の規制に対応する素材
により、自動車業界の課題解決に貢献

ダイカスト：2026年の重要トピックス

ギガキャストの試作品受注の拡大



- 自動車部品（リヤアンダーボディ・リヤサスメン）を中心に、試作品受注は堅調に進展
- さらなる生産効率化の実現に向け、政府機関・大学との協働開発・実証を推進

さらなる試作品受注拡大に向け、技術開発と幅広い適用領域への訴求を並行して実施

非自動車を含めた新規領域の開拓



※イメージ

- 主力である自動車以外の領域（鉄道や船舶、航空・宇宙、建材など）へダイカスト製法を活かした生産の効率化を提案
- 技術PRを通じ、ダイカスト技術の可能性を訴求、非自動車領域の顧客に対しプレゼンを実施

今期中の新規領域での受注を目指す

2026年の取組み状況（建築用品・印刷機器）

中期経営計画の事業戦略			2026年の取組み
建築用品	商品力強化と海外販売拡大	高付加価値商品の拡販	✓ <u>RUCAD商品の更なる高付加価値化に向けたシステム高度化・外部連携機能の強化</u>
		海外向け商品の拡充と拡販	✓ 既存市場における販売体制整備 ✓ 新規市場への参入に向けた商品や代理店の整備
	最適地生産と原価低減の推進	各工程における生産性の改善	✓ 自動化設備の導入による省人化の進展 ✓ 生産能力拡大に向けた生産基盤の再構築
	アクセスソリューション市場の開発	ドア周りの様々なシーンの困りごとを解決するアクセスソリューション事業の立ち上げ	✓ バリアフリーの課題解決に向けた商品拡充 ✓ パートナー企業との販売・施工体制の確立
印刷機器	顧客ニーズへの対応力強化	顧客ニーズベースの開発と、個別要望への対応力強化	✓ <u>技術交流会および代理店との連携を通じた顧客との関係性強化</u>
	サプライチェーンの強靱化	品質向上とコスト低減の実現	✓ サプライヤーとの協業による改善活動の推進 ✓ 社内加工の生産能力の向上
	新規商材・サービスの獲得	印刷工場最適化サービスの立ち上げに向けた新規商材の獲得	✓ パートナーと共同開発した新規商材の市場浸透推進

建築用品：2026年の重要トピックス

・ アクセスソリューション市場の開発

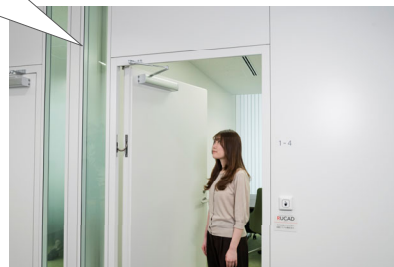
RUCAD商品の更なる高付加価値化

システムアップグレードによる高付加価値化



【主な改良点】

- お客様の使用環境に適した、システムのアップグレード
- より安全に使用いただくための、扉動作速度の最適化



- お客様のニーズを反映し、複数の新機能を搭載したソフトを新たに開発、さらなる利便性の向上を実現（※特許出願中）

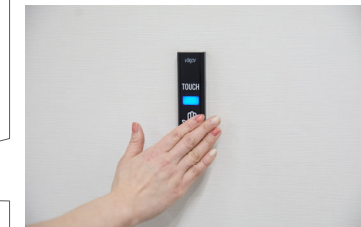
お客様のドア開口部の困り事にRUCADを提案

流通センターへのRUCAD導入事例



Before

感染症への不安や、ドア付近での衝突事故など、社内環境の整備が課題



After

- ✓ 非接触センサーで手を触れずにドアを開閉
 - ✓ 開閉方向に人がいるかどうかを音で通知
- ⇒ 感染対策・安全向上

■ その他、新たな顧客・場面における活用も拡大

【主な採用件数】

- 自走ロボットとの連動 : 16件
- 病院・福祉施設でのバリアフリーを目的とした採用 : 10件
- 宿泊施設でのホスピタリティ向上を目的とした採用 : 14件

印刷機器：2026年の重要トピックス

- 顧客ニーズベースの開発と、個別要望への対応力強化

技術交流会および代理店との連携を通じた顧客との関係性強化



お客様への予防保全の指導



新台納入先でのオープンハウス開催の記念品贈呈

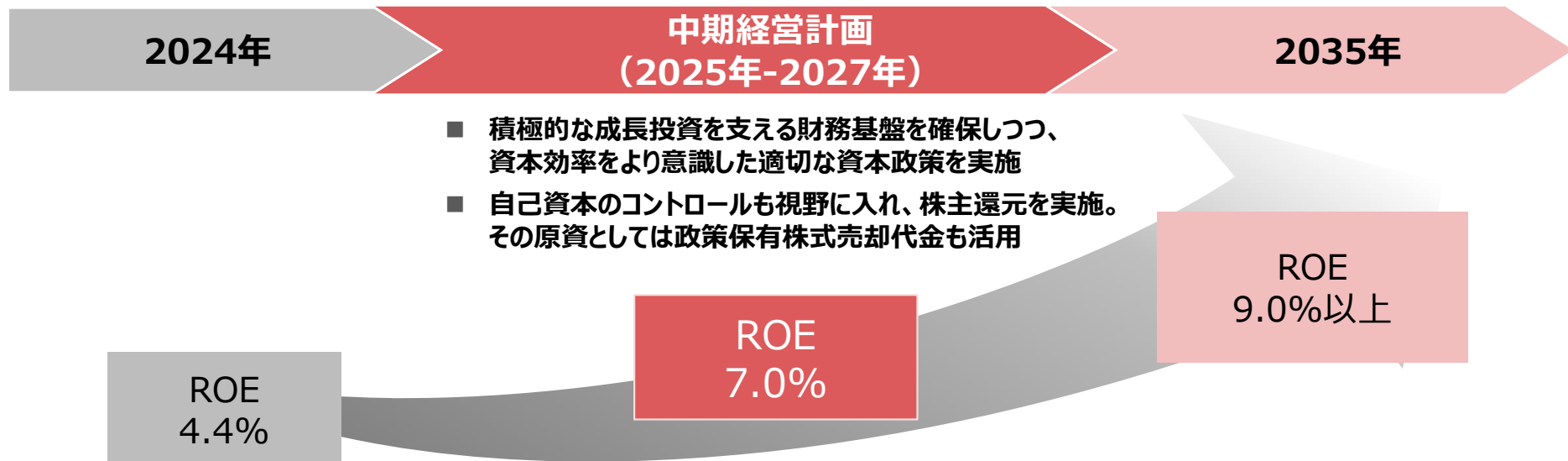
- 営業とサービスが協業して顧客との技術交流を実施
- 予防保全の意識を醸成することで、顧客の生産の安定性向上を図るとともに、サービスの売上拡大との両立を図る

- 訪日ツアーの受け入れや、納入先でのオープンハウス開催など、代理店と連携することで、顧客との関係性を強化
- 代理店サービスの教育を実施することで、海外における現地対応力を強化

4.企業価値向上に向けた取組み状況

企業価値向上に向けた中期的な方針

- ・ 段階的にROEを引き上げ、中長期的に資本コストを上回る水準を達成する

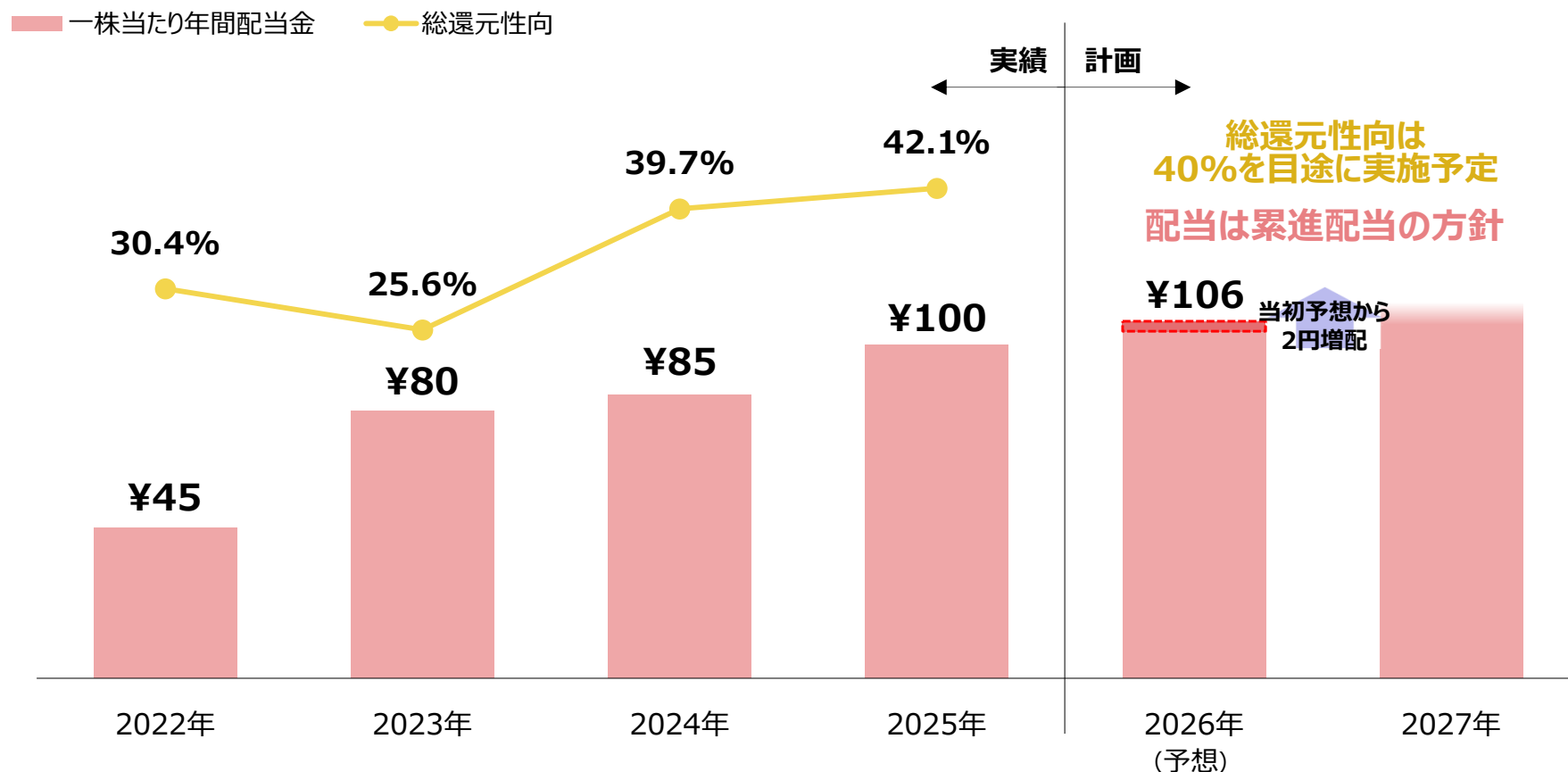


取組み事項	
政策保有株式の縮減	✓ 2027年期末までに2024年期末比50%を目途に政策保有株式を縮減
資本構成最適化	✓ 機動的な自社株買いなどを実施し株主還元を強化するとともに、有利子負債の活用により自己資本をコントロール
成長に向けた戦略投資	✓ 戦略製品の新規受注対応・大型部品の一体成形（ギガキャスト）の技術開発投資を優先し実施
資本市場との対話	✓ 適時適切な情報開示、積極的なIRにより情報発信を強化

株主還元（自社株買い・配当政策）

- ・ 中計期間中は累進配当を採用
- ・ 2025年は一株当たり100円配当を実施
- ・ 2026年は一株当たり当初予想の104円から106円に2円増配
- ・ 自社株買いは、2026年も15億円を実施予定、総還元性向は40%を目安とする

一株当たり年間配当金



環境・社会課題への対応に関するトピック

カーボンニュートラル 達成に 向けた取組

■ 再生可能エネルギーの利用促進

- 国内ダイカスト製造拠点である広島東工場及び静岡工場において、自家消費型太陽光発電設備の導入を決定
- 広島東工場は2027年、静岡工場は2026年に設備の設置完了を予定しており、年間で約3,300tのCO2排出削減を見込む

持続可能な サプライチェーン との共創

■ サプライチェーンとの良好な関係の維持・向上

- 「リョービグループ サステナビリティ調達方針」の策定および「リョービグループ サプライヤーサステナビリティガイドライン」の改訂を実施
- 中小受託取引適正化法（取適法）の施行に伴い、「パートナーシップ構築宣言」を更新

ガバナンスの 取組強化

■ コーポレートガバナンス活動の推進

- 取締役・監査役のスキルマトリクスに基づいた、経営戦略の実現可能性について、統合報告書での開示範囲を拡大

■ コンプライアンス活動の推進

- 「コンプライアンス強化月間」を定め、社員の意識向上を図る

■ リスクマネジメントの推進

- 「自動車産業サイバーセキュリティガイドライン」への準拠、グループ各社のサイバーセキュリティ対策推進サポートを通じ、サプライチェーン全体における情報セキュリティレベルを底上げ

キャッシュ・アロケーションの実施状況

中期経営計画（2025年-2027年）における キャッシュ・アロケーション目標

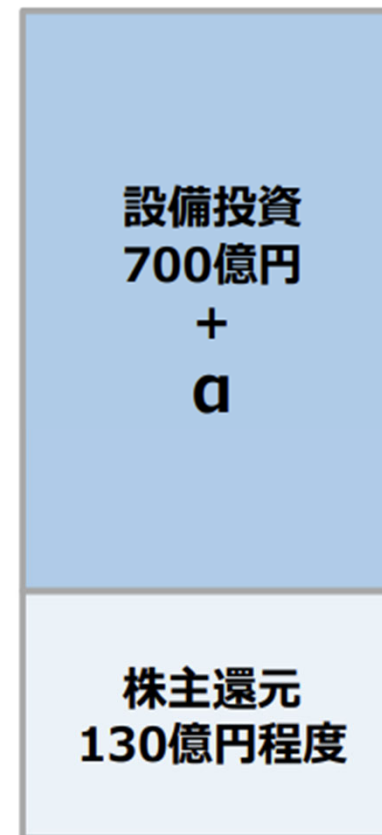
2026年第2四半期までの キャッシュ・イン実施状況

- **営業CF**
2026年第2四半期は
75億円を計上
（2025年からの
累計214億円）
- **政策保有株式売却**
2026年第2四半期は
14億円を実施
（2025年からの
累計31億円）



2026年第2四半期までの キャッシュ・アウト実施状況

- **設備投資**
2026年第2四半期は
69億円を支出
（2025年からの累計279億円）
- **配当**
2026年は一株当たり
106円を予定
- **自社株買い**
2026年は15億円を実施予定
（2025年からの累計30億円）

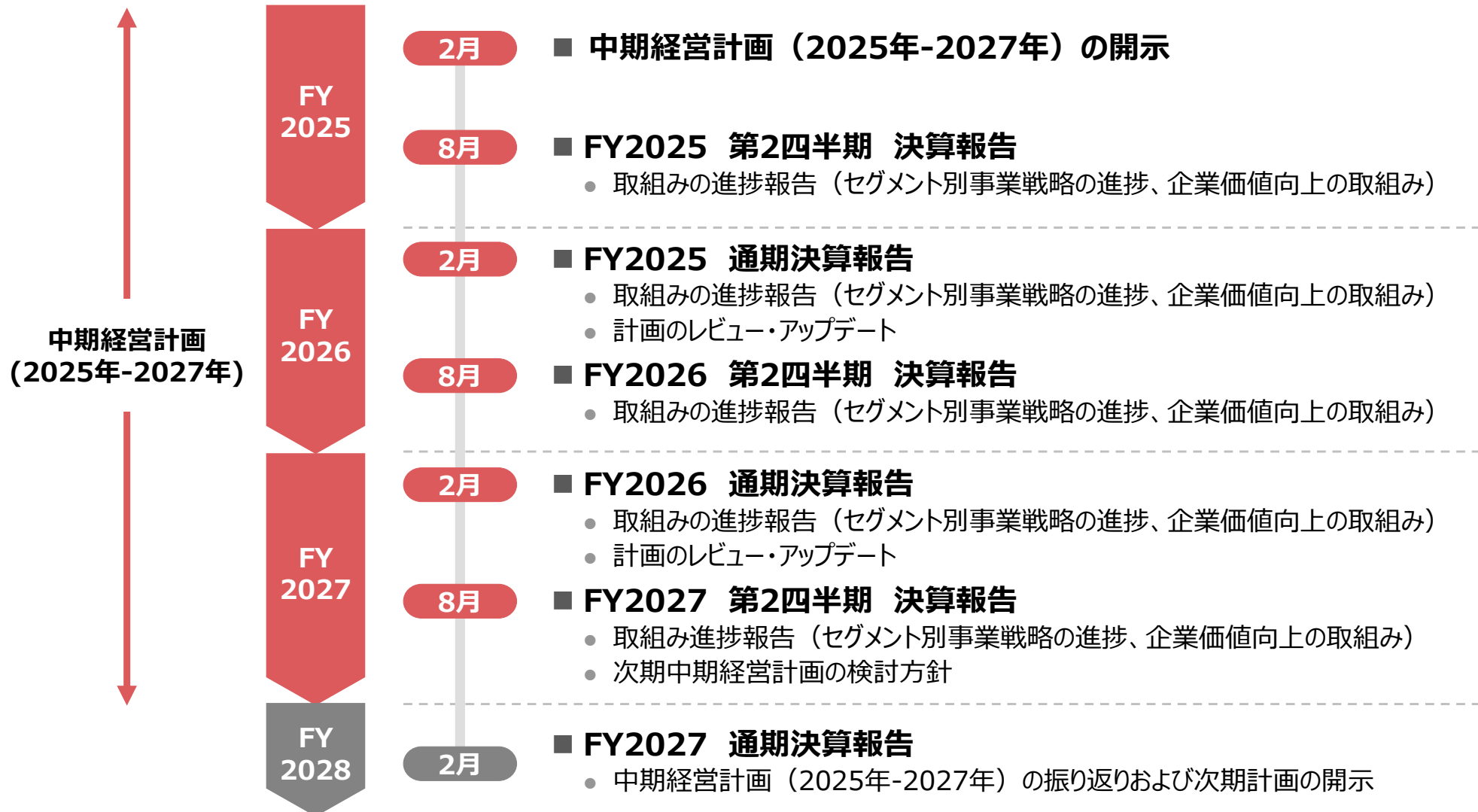


政策保有株式売却分は
自社株買いなどの原資に充当

今後の中期経営計画に関する開示方針

- 中期経営計画の進捗状況について今後も積極的に開示を行う方針

中期経営計画 開示スケジュール



将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

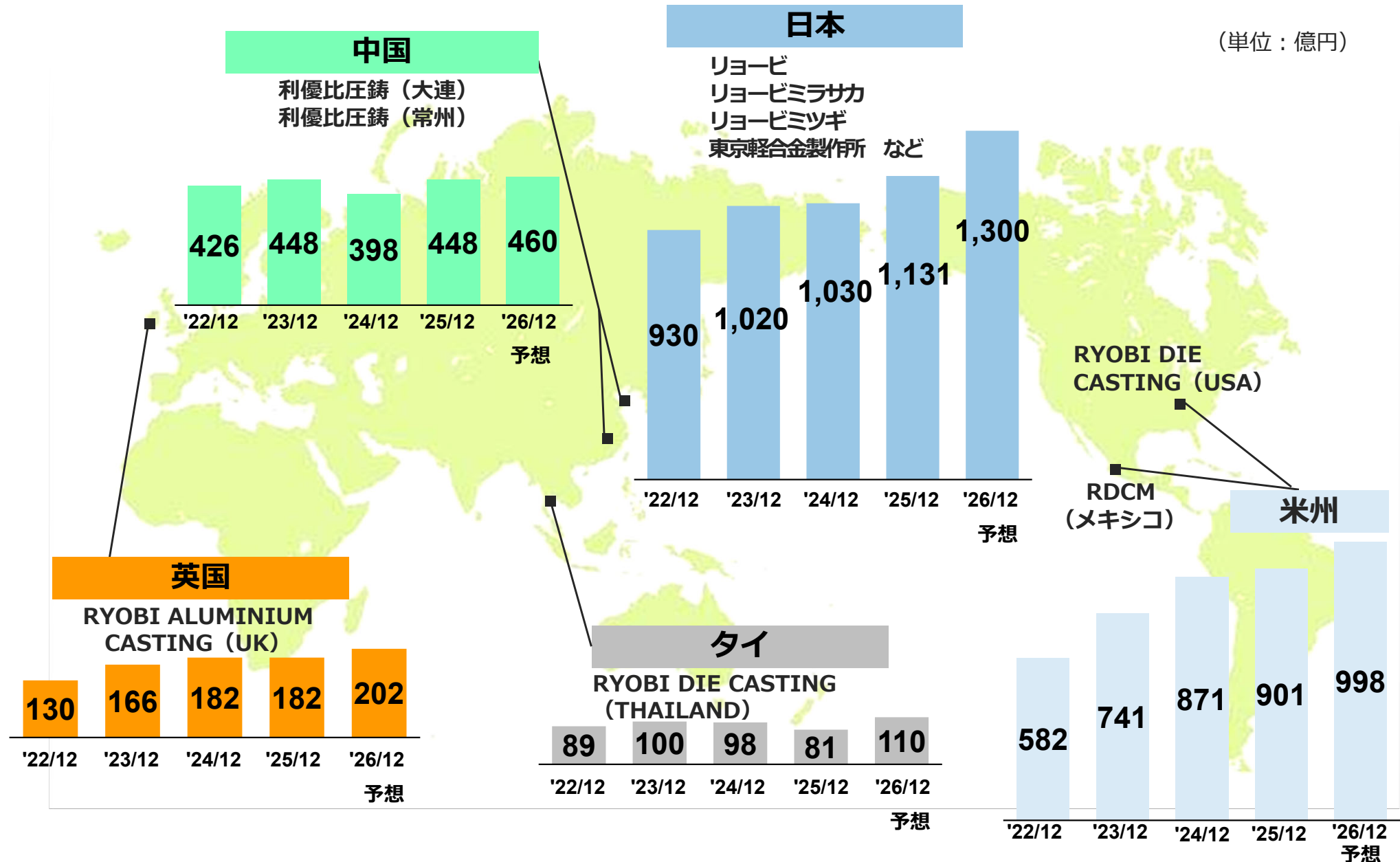
当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは異なる可能性があります。

RYOBI

できたらいいなの、その先へ。

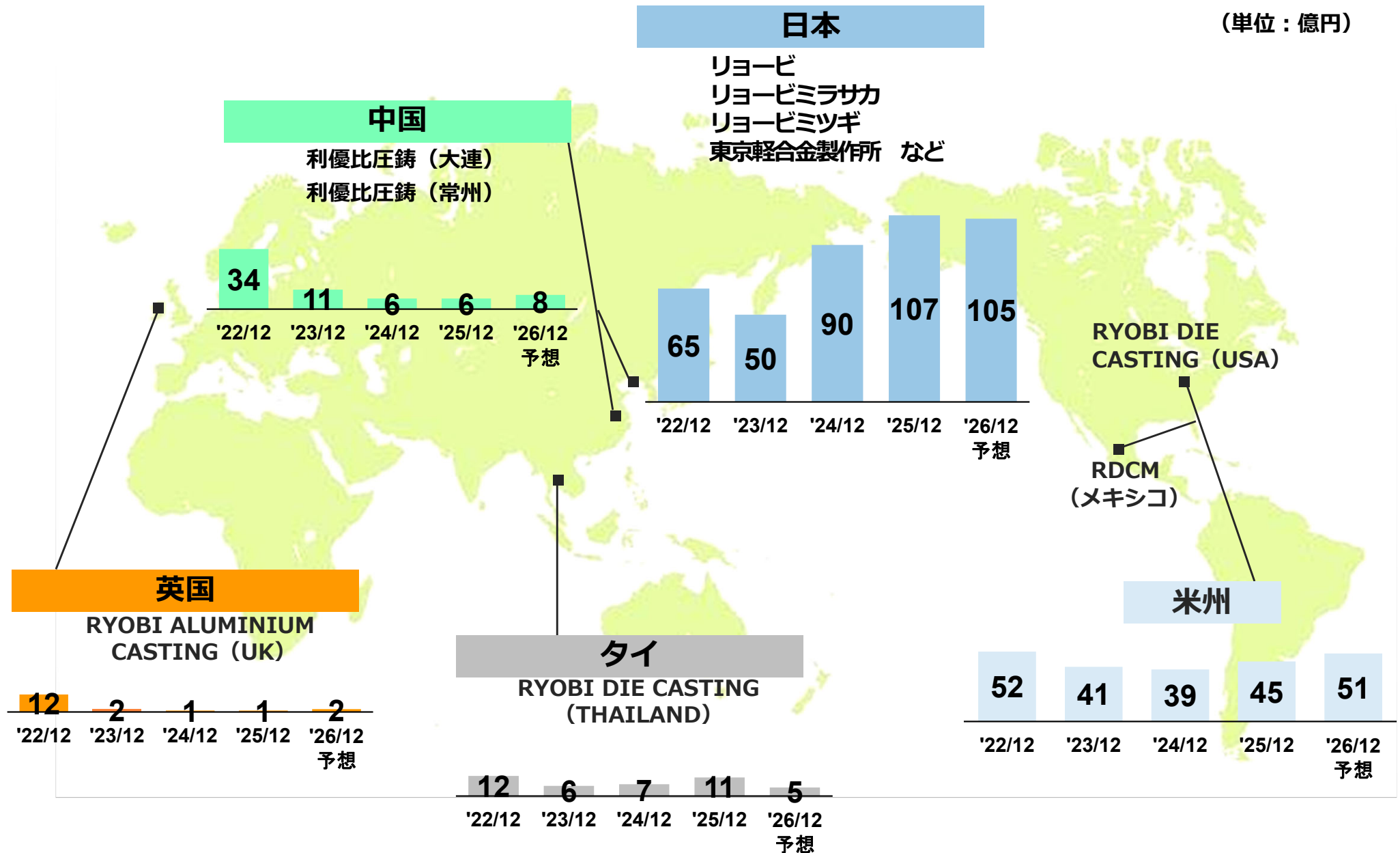
ダイカスト事業

地域別売上高の推移



ダイカスト事業

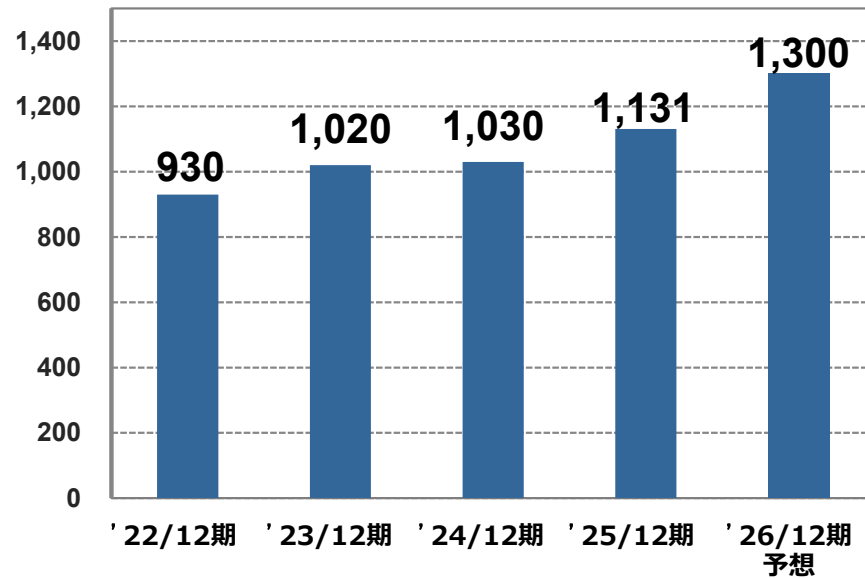
地域別設備投資の推移



ダイカスト事業 -日本-

売上高推移

(単位：億円)



事業環境

- BEVシフトへの減速、HEVの伸び継続
- イラン情勢の悪化による、中東向け輸出車の減産
- 原材料価格、エネルギーコストの高騰

主要な取組み

- 電動化・軽量化の製品受注に向けた営業活動の強化
- 自動化・省人化技術の開発、不良率の低減
- ギガキャストの試作品受注の拡大

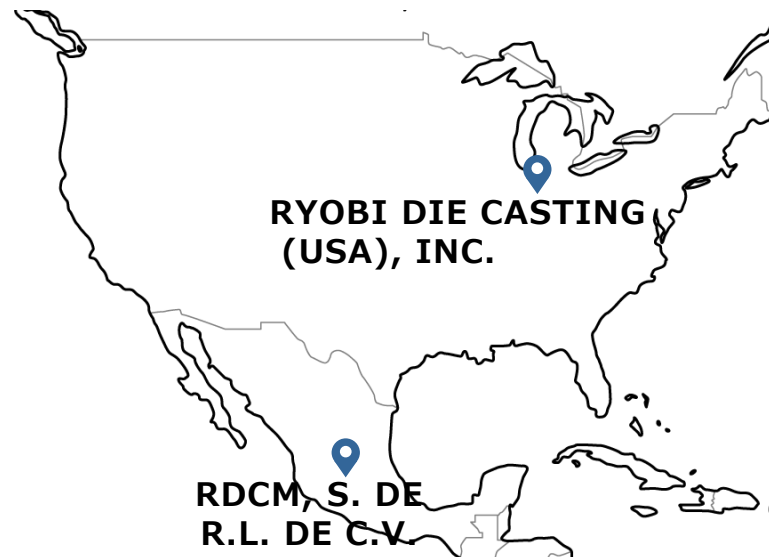
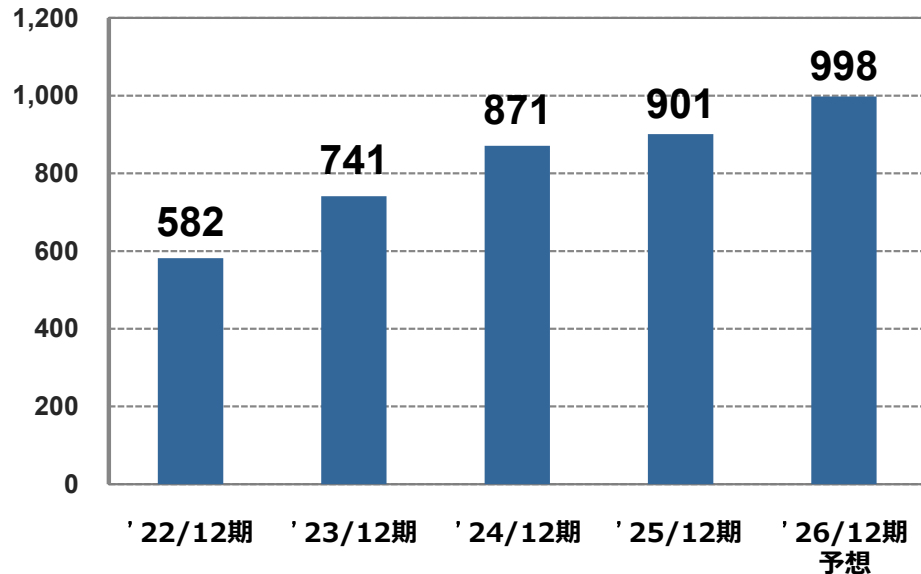


リョービ
広島東工場

ダイカスト事業 -米州-

売上高推移

(単位：億円)



事業環境

- BEV販売鈍化
- 自動車メーカーのBEV投資計画縮小、HEV生産拡大の動き
- EV購入税控除の駆け込み需要の反動減により、新車市場は前年比で縮小

主要な取組み

- 自動車メーカーのBEV投資縮小に伴う他製品の受注
- ハイブリット化から発生する新規ビジネスの獲得
- 生産性改善によるコスト削減



RYOBI DIE CASTING (USA), INC.

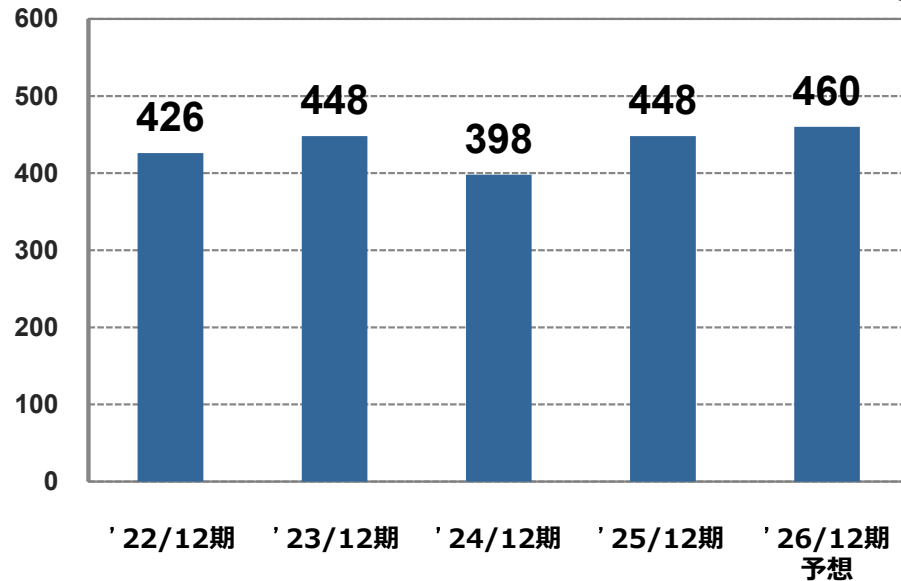


RDCM, S. DE R.L. DE C.V.

ダイカスト事業 -中国-

売上高推移

(単位：億円)



事業環境

- 過剰生産能力のもと、低価格での自動車販売競争続く
- 新工ネ車の自動車購入税免除は全免から半額減免に、買い替え補助金再開の遅れ
- 中国車の海外輸出拡大は継続
- 中資系自動車メーカーがシェア拡大、外資系メーカーはシェア縮小

主要な取組み

- 中資系自動車メーカーとの関係構築と拡販
- 自動化・省力化の推進
- 原価低減（中国市場の価格に対抗）



RYOBI DIE CASTING
DALIAN CO., LTD.



RYOBI DIE CASTING
CHANGZHOU CO., LTD.

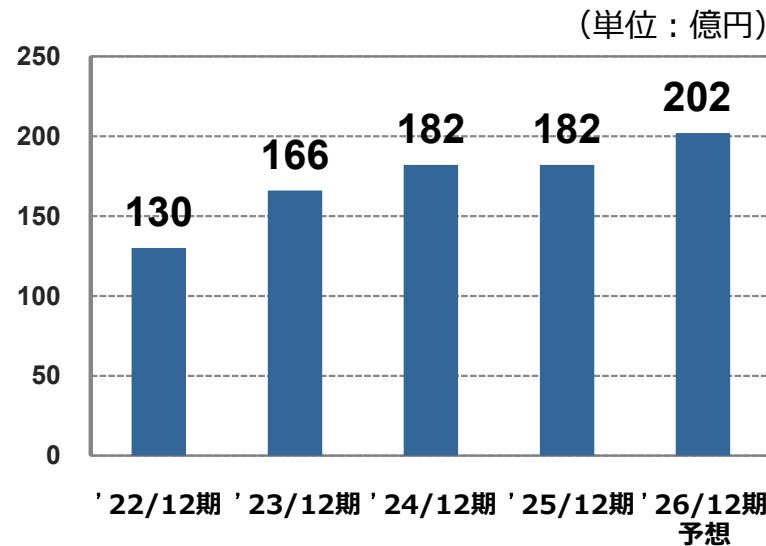
ダイカスト事業 -英国・タイ-

英国



RYOBI ALUMINIUM
CASTING (UK), LIMITED

売上高推移



事業環境

- 中国系自動車メーカーのシェア拡大と環境規制の再見直し
- 原材料等のコスト高騰

主要な取組み

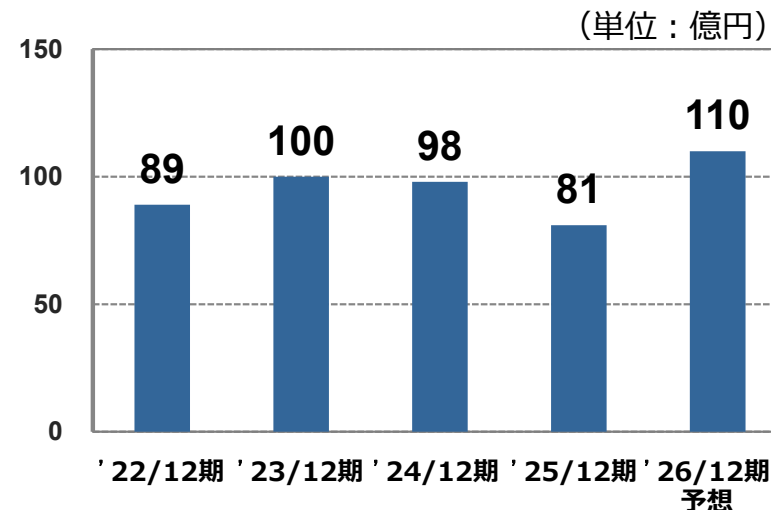
- 生産性の向上(原価率低減)
- 新規受注品の獲得

タイ



RYOBI DIE CASTING
(THAILAND) CO., LTD.

売上高推移



事業環境

- 中国勢の躍進による、日系自動車メーカーのシェア低下
- 自動車ローン審査の厳格化による販売の低迷

主要な取組み

- 新規品受注獲得と新規顧客の開拓
- 品質改善・自動化の推進

(参考) 軽量化・電動化への取組み -戦略製品の売上高・構成比-

- 戦略製品（軽量化（ボディ・シャシー）部品、電動化部品）の売上高・構成比は2027年までに30.7%に拡大する見通し
- 昨年の予測と比較し構成比は低下するものの、その他製品を含めた売上高の総量としては堅調に推移
- 新規受注（2026年見込）のうち約78%が電動化・ボディ・シャシー部品
（新規受注実績：2021年55%、2022年77%、2023年85%、2024年83%、2025年60%）

部品カテゴリーごとの売上高・構成比

